



2021 年分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

年間総取扱量 41万9千トン 前年比 32.9%増



概要

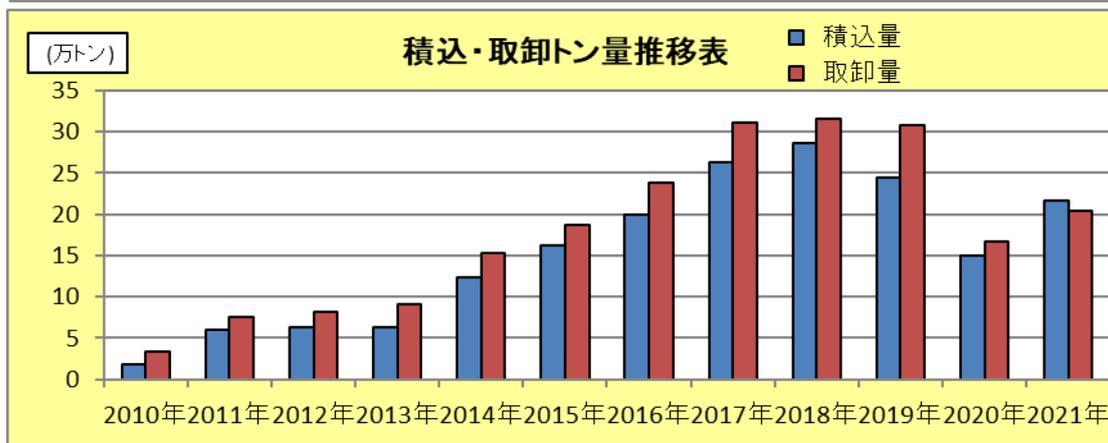
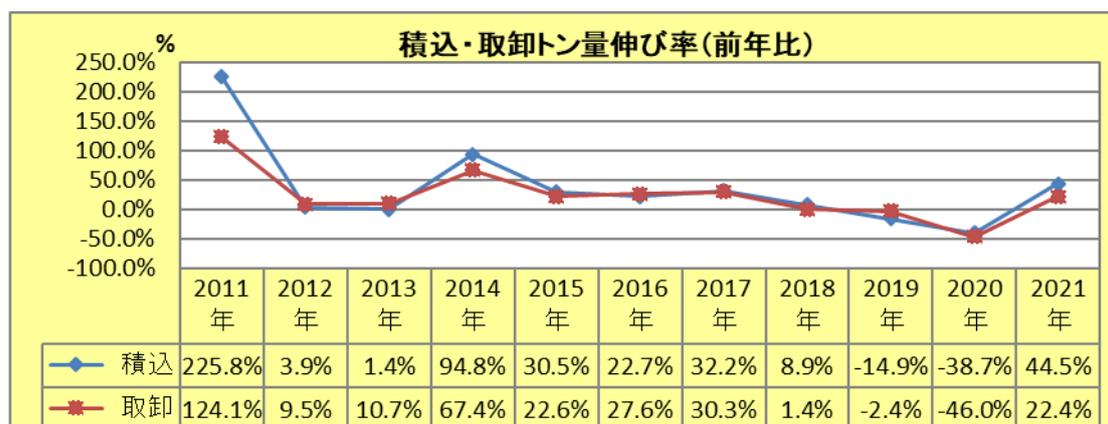
2021年の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 419,392トン(前年比 32.9%増)

積込量 215,843トン(同 44.5%増)

取卸量 203,549トン(同 22.4%増)

となり、対前年比でいずれも3年ぶりの増加となった。



※2010年10月羽田再国際化

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 13,042トン(前年比 56.2%増、シェア 11.3%)

その他地域通関 102,418トン(同 59.8%増、同 88.7%)

となり、羽田地域通関、その他地域通関が、いずれも増加となった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 58,270トン(前年比 12.3%増、シェア 46.6%)

その他地域通関 66,672トン(同 26.9%増、同 53.4%)

となり、羽田地域通関、その他地域通関が、いずれも増加となった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 100,383トン(前年比 30.5%増)

取卸量 78,607トン(同 27.0%増)

となり、積込量、取卸量が、いずれも増加となった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2021年の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 12,416トン(前年比 36.9%増、シェア 21.3%)

ドライ貨物 45,854トン(同 7.1%増、同 78.7%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等25.5%(前年比1.5%減)、果物19.8%(同138.5%増)、水産物30%(同36.8%増)、植物(切花等)10.2%(同40.1%増)、乳製品9.9%(同68.1%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2021年			2020年		
	トン	前年比	構成比	トン	前年比	構成比
羽田空港輸入貨物量	58,270	112.3%	100.0%	51,883	52.5%	100.0%
生鮮	12,416	136.9%	21.3%	9,072	57.1%	17.5%
ドライ	45,854	107.1%	78.7%	42,811	51.7%	82.5%